学校法人 浪越学園

日本指圧 専門学校

JAPAN SHIATSU COLLEGE NEWSLETTER







建設予定地

東京都文京区小石川二丁目12番4号 (現校舎より徒歩2分)

先輩の方々は、心の中にいろいろな想

この間、この校舎で学び卒業され

出が色濃く残っていることと思

で43年が経ちました。

る校舎は昭和43年7月に竣工し、今年

現在、

皆様方に学んでいただいてい

ます。

でしたので現在の修業3年では何かと

機会があれば増設や建て

かし、その当時は修業年限2年間

かかる折、

現在の校舎と地続きとも

平成24年3月から建設工事に入り平 事が進行中ですので、それの終了する などを新設しますので、 きになりますので日当たりも眺めもよ 学校建設に適した土地に改良すべく工 とに決断いたしました。 な学生生活を送って貰えることと確 く、さらに、教室や図書室の拡充をは 25年6月の竣工を目指します。 いたしております。 したので、ここに新校舎を建設するこ いうべき最適な所に土地が見つかりま 新しい建物は春日通りに面した南 現在、この土地は旧建物を取り壊し、 念願であったラウンジや自習室

成

向

浪越和日

より一層快適

理事長 民



更なる飛躍を

新校舎建設

平成23年は、東日本大震災と福島原発事故発生による未曽有の災禍を被った年として永く国民に記憶されることになりました。

その規模と影響は、空間的にも時間的にも圧倒的な様相を呈しており、その復旧、復興には永い苦難の道のりが、また弛まぬ意思と実行が求められ、日本全体の真価が問われる事態となっています。

このような厳しい社会経済情勢の中ではありますが、 本校では、ここ数年来の懸案であった新校舎の建設とい う選択を行いました。

この計画は、将来を展望した長期的視点から時代の変化と未来のニーズに対処するためのものであり、学校の更なる飛躍を期するための事業であります。

竣工時には、学習環境の改善と学校の管理運営の効率 化を図り、医療人材育成の社会的使命を果たす所存であ ります。

予定工期:平成24年3月中旬~平成25年6月30日 使用開始時期:平成25年度後期の予定

※掲載の情報は全て予定であり、変更になる場合があります。

新校舎

ほとんどの座学の授業が行われるほか、各種 の学生施設、学校運営部門が入ります

12F	理事長室		展示室	
11F	校長室 会議		室	標本室
10F	図書室			
9F	学生自習室			
8F	教室 6		ホール	
7F	教室 5		ホール	
6F	ラウンジ			
5F	教室 4		ホール	
4F	教室 3		ホール	
3F	教室 2		ホール	
2F	教室 1		ホール	
1F	エントランス		事務室	
B1	機械室		教務室	

現校舎

改修工事を行い実技指導を中心とした施設へ と生まれ変わります



欧州の指圧師が一堂に 国際指圧オランダ大会

2011年6月3日から3日間、オランダの首都アムステルダムから30km離れた"エンメネス"で国際指圧オランダ大会が開催されました。

本校からは、浪越和民理事長、小林秋朝先生、通訳のAlexander G. Woodburn 先生と私、スペインから浪越指圧ヨーロッパ (N.S.E) 会長・日西指圧学院長小野田茂先生 (本校25期卒)、そしてオランダ、ベルギー、スイス、イタリア、ポルトガル、スペイン各国の指圧学校を卒業した指圧師160名が参加しました。

予定人数を大幅に超えたため、2カ所の会場で「指圧とバランス」をテーマに8名の講師によって行われることになりました。

本学園理事長の開会式挨拶では、東日本大震災において各国からお寄せいただいたお見舞いのメッセージとご

支援、ご声援に対する謝意の後、今後とも父浪越徳治郎の意思を継ぎ指圧の普及に努力を捧げると共に、ヨーロッパにおける指圧の法制化への期待と、患者さんのための指圧、医療としての指圧を再認識する必要性が述べられました。

一日目 Mida Schutte 先生による「しっかりした足で立つ」では、歩行時の体重移動の重要性等の講義。小林秋朝先生による「安定した指圧」では、基本である圧の入れ方、抜き方、姿勢などの講義。続いてオランダ在住27年のマッサージと芸術文化アカデミーで主任教授として活躍されている宮下良則先生(本校23期卒)が「腰部、臀部における指圧の効果」を症状に合わせて講義されました。

二日目 アムステルダム市内のホテルオークラ内の指 圧クリニック「たちばな」の院長でオランダ在住17年の 宮本直美先生(本校29期卒)による「体の調整とバラン ス」では、実技指導をメインとして体の歪みの矯正等を 講義されました。 オランダのNathan Krant先生とPaula Kobayashi先生の「仙腸関節の療法」では、仙腸関節における頸部の施術の重要性と、頸椎と仙腸関節の関係をパワーポイントを使い講義されました。

スペインの小野田先生は「ASPA 理論による体のバランスの取り方」をテーマに、指圧施術において理にかなった身体の機能的な使い方を実技を取り入れて講義されました。

最終日 「腹部の基本指圧」のテーマを小林秋朝先生と私が別々の会場で講演しました。腹部のデモンストレーション後、参加者が2人一組になり号令に合わせて実技を行いました。皆様の真剣な姿を見て基本指圧がいかに大切であるか私自身も改めて見直すことができました。そして、何年もかけてヨーロッパで指圧の普及をして来られた本校教職員、スペインの小野田先生の努力の

結果だと確信しました。

今回の大会は緑に囲まれたとても静かな環境の中で行われ、参加者ともより親交を深めることができた有意義な大会になったと思います。

(浪越指圧治療センター 主任 浪越 雄二)



腹部基本指圧のデモンストレーション (左から筆者、小野田先生、通訳)



基本指圧を重点に イタリア・ローマ指圧大会

2011年6月10日から3日間、浪越指圧ヨーロッパ (N.S.E)・イタリア、Paola Frondoni先生主催の指圧大会で、講義を行ってきました。

大会のテーマは、「浪越指圧の基本実技」と「疾患別治療法」。とりわけ基本指圧は、全身操作を3日間に分けて再確認し、修練したいとのことでした。

会場はローマ市の北に位置する「Circolo Sportivo Aereonautica Militare」というスポーツ会館で行われました。

私は6月初旬の「オランダ指圧大会」を終えて、アムステルダムからローマへ移動し、夜遅くにスペインから到着された小野田茂先生(浪越指圧ヨーロッパ代表)とホテルで再会しました。大会中は、小野田茂先生にアシストをしていただきました。

大会初日は、9時の開会式後すぐに講義に入り、初め



指圧治療を実演中の筆者。右は通訳

圧の強弱と密接に深く連動する上肢の関節、とりわけ肘 関節の屈伸操作を微妙にコントロールする重要性を解説 しながら、体幹の重心移動と一体となって連動している <動態>を「横臥位と伏臥位」で実演しました。さらに、 横臥位にて全身を指圧する「妊婦の指圧法」と、応用編 である「坐位指圧」を実演解説しました。

2日目は、「仰臥位の基本指圧」「線維筋痛症」「むち打ち症の治療法」について実演解説。

3日目は、「頭部、顔面、胸部、腹部の基本指圧」「頸椎症の検査法と治療法」について実演解説。

大会に参加された約120名の先生方は、連日早朝から 日没まで全てのテーマを真剣に相互指圧で復習されてい ました。たゆまぬ探究心を感じさせる熱意のこもった充 実した大会でした。

翌朝8時にホテルを後にし、小野田茂先生と再会を約束して各々帰国の途につきました。

(講師 小林 秋朝)



全員による基本指圧の修練



第7回学園祭が開催 学園祭"ゆびまつり"

7月23日、第7回ゆびまつりが開催されました。

前日の準備日から、徐々に、学生、教職員の気持ちが 昂ぶっていきます。

普段は、勉強するために通う学校ですが、この日ばかりはお祭り気分。はしゃぎ過ぎはご愛嬌。

とはいえ、仲間と協力して作り上げた学園祭で、今まで以上に強い絆が生まれ、良い思い出ができたことと思います。

普段とは違う、学生の輝いた顔がとても印象的でした。 (校長 石塚 寛)



グレードアップした浪越フラガールズのパフォーマンスでオープニング





呼び込み、がんばりました。今年の喫茶はワッフル



炎天下の中、一生懸命練習した阿波踊り



列が途切れることのない坐位指圧



あっという間に売り切れたホットドック。ソーセージ にこだわりました





学生、教員のコラボ



毎年、大好評のチャリティー指圧

学園祭を終えて… ~学園祭委員長として~

私は話の流れでなんとなく学園祭委員長になってい た、と言う具合でして、半ばぼんやりと準備を見ていた 次第です。というのも、委員が皆しっかりしていました ので、委員長と言っても特別な仕事もないし、さらには 例年自主的に幾度も集会を開いて案を煮詰めるようなの ですが、今年は2回集まっただけで「オイオイそれって 大丈夫なの?」と思った程でした。

当日は定番の鉄板焼きや喫茶店、坐位指圧(無料)や チャリティー指圧あり、フリーマーケットスペースでは 物品販売のほか、オイルマッサージ体験(上肢)や3年連 続出店で根強い人気のくるみ釦製作などもあってバラエ ティに富みました。

また、お祭りらしく、フラダンスや生演奏つきの阿波 踊り、バンドライブなども行われ、来ていただけた方だ けでなく学生達も楽しめたようです。斯く言う私も阿波 踊りやバンドに出演し、楽しませていただきました。

恒例となりつつある男女装コンテストでは、阿鼻叫喚 でした。お察し下さい。一応男女装となっておりますが、 女性の参加があまりいないのが個人的に残念でなりませ ん。目指せ宝塚。

合間を縫って一応全体を回っていたのですが、大きな 問題もなく終わったようです。指圧の人気がありすぎて 断らなければいけないのは心残りでしたが…。

皆様お疲れ様でした。来ていただいた方、有難うござ

学園祭Tシャツに痛烈な皮肉をスパイスにした私の作 品が、大事なそこを除き一部採用されました。理解され なかったのかなぁと、ちょっと複雑ですが、今となって はまあ満足です。

(学園祭委員長 長谷川 有基)

■ 学校説明会─実際に指圧を体験

- ●平成23年7月23日(土) 午前11時と午後2時に開催
- ●別館第二実技室 ※学園祭開催時

プロジェクターを使用して、学校と指圧について分かり易い 説明を行いました。その後5階でのチャリティー指圧に案内し、 体験の機会をもちました。

- ●平成23年10月1日(土) 午後2時に開催
- ●本校3階教室

学校および入試の概要と指圧関連情報を説明し、その後5階 で開かれている修練会へ案内し、指圧の実際を見学、希望者へ の体験の機会をもちました。



石塚校長先生による説明



研究成果を発表 東洋療法学校協会学術大会

第33回東洋療法学校協会学術大会が10月6日大阪国 際交流センターで開催され、約二千名の関係者が参加、 口頭発表6題、ポスター発表27題の研究成果が発表さ れました。

心身一元論をベースとする東洋医学的アプローチが、 自律神経系のシステムを解明する新たな切り口として注 目されている昨今、「心の治療 東洋医学」をテーマに掲 げた今大会において、本校からも『前頸部・下腿外側部 の指圧刺激が瞳孔直径に及ぼす効果』についての研究発 表ができたのは非常に意義深いことだと思います。

約1年間コツコツと積み上げてきた活動を研究発表と いう形に結実させ、来年以降への研究にバトンをつなぐ ことができました。ご指導くださった先生方、そして睡 魔と闘いながら瞳孔直径測定にご協力くださった被験者



会長を中心に研究会全員で力を合わせて取り組んだ研究を発表

の皆さんに心より御礼申し上げます。指圧がEBM(科 学的根拠に基づく医療)として一般に認知されるには、 まだまだデータが不足しているのが現状だと思います。 指圧研究会への引き続きのご支援をお願いいたします。 (第53期指圧研究会会長 横田 真弥)

ポスター発表

前頸部・下腿外側部の指圧刺激が瞳孔直径に及ぼす効果

本学学生および教職員

計21名(男性14名/女性7名)

被験者を仰臥位にて、両眼電子瞳孔計(ニューオ 🎫 プト社製 ET-200) で瞳孔の直径の変化を測定

指圧刺激

指圧刺激前3分間→刺激中3分間→指圧刺激後3分間 の瞳孔直径を記録。対照として9分間の安静 刺激部位:下腿外側部・前頸部

浪越基本指圧の前頸部 4 点と下腿外側部 6 点を母指圧 にて刺激し、1点圧3秒で3分間繰り返し行った 圧刺激:通常圧法-快圧

瞳孔直径の反応(左右)

3群(前頸部刺激、下腿外側部刺激、無刺激)の経時的 変化の間に交互作用を示した

前頸部刺激

刺激後30秒、60秒、90秒、120秒、150秒、180秒で 有意に縮瞳

下腿外側部刺激 有意差は認められなかった

無刺激 有意差は認められなかった

健常者を対象とした指圧刺激によって瞳孔直径は前頸 部刺激では有意に縮瞳したが、下腿外側部刺激では有 意な反応は認められなかった



グローバルな視点で カナダから池永先生来校

カナダ指圧カレッジの創始者 池永清先生(第28期生) が来校され、10月31日、11月2日にカナダ研修制度説明 会と地域経営の授業に講師として熱弁を振るわれました。

学校および研修制度創設の経緯、カナダにおける指圧 の現状等について、海外でご活躍の先輩から直に貴重な 話を聞く機会を得ることができ、学生にとって有意義な 時間となりました。



「緊張した」とおっしゃる地域経営学の講義

部 活 動 報 告 ・ ボ ラ ン テ ィ ア

ビーチフットボール大会浪越スポーツ指圧トレーナー部

7月31日、浪越スポーツ指圧 トレーナー部は、湘南ひらつ かビーチパークで開催されたビーチ フットボール全国大会で、恒例のボ ランティア指圧を行いました。

日本発祥のこの競技は、ラグビーとアメリカンフットボールをミックスしたようなビーチスポーツです。 試合前の選手達には怪我の予防とパフォーマンスの向上のために、試合後には疲労回復や体のケアのために 指圧を受けてもらいました。そして、 選手自身が自分の体の状態を知って コンディショニングすることの重要 性を伝えました。

「体が動く感じがした」「疲れや張りがとれた」施術後のアンケートに書かれた選手達の感想を読んで、この日のために部員達と日々努力してきた甲斐があったと思いました。悪天候の中で、必死でプレーするトップアスリート達をサポートできて本当に良かったと思います。

また当日は、部員11名に加えOBの方々も参加してくださいました。

トレーナーとして現場や治療院で活躍されている先輩方の指圧を見学できたことも貴重な経験となりました。今後も指圧の普及と社会貢献のために、この活動を続けていきたいと思います。 (2B 松澤 靖)



スポーツの分野で更なる指圧の普及を!

夢舞マラソン

浪越スポーツ指圧トレーナー部

10月9日、第12回東京夢舞 いマラソン大会が開催され、 私たち浪越スポーツ指圧トレーナー 部もボランティアの一員として参加 しました。

この大会では走破タイムを計らないので、選手はコース途中で指圧を受けることができ、今年は神楽坂に設けられたブースで、171名の選手に指圧を行いました。

スポーツの世界では、疲労回復の ためのマッサージがそれなりに知ら れているのに反して、パフォーマン スの向上と障害の予防を目的とした 指圧がなかなか広まらない現状が残 念でなりません。幅広い分野で正し く指圧が認知されることを願うもの であります。

それには、国家資格である「あん 摩マッサージ指圧師」の果たす役割 が重要であり、今後も、このボラン ティア活動を指圧普及と参加者の繋 がりの場として、充実したものにし ていけたらと考えています。

夢舞マラソンは、例年この時期に 開催されますので、皆様是非ご参加 くださるようお願い申しあげます。

(教員 石塚 洋之)



コース途中で施術を受ける選手たち

礫川マラソン大会 オイルマッサージ部

11月27日、第37回礫川マラ ソン大会が開催されました。 この大会は本校前がスタート・ゴー ル地点となっていることから、レー ス後の選手に対して学生が指圧を施 したり、オイルマッサージ部による 下肢のケアを行うのが近年の恒例と なっています。

また、施術スタッフとしてだけで なく、選手として大会に参加してい る学生や教職員もおり、中でも今年 は3年B組大久保潤さんが、ハーフマラソンの種目で4位と好成績を収め大健闘しました。

毎年大会に参加している選手の中には、施術を受けるのを楽しみにしてくださる方も多いようで、この活動が地域に根付いている様子がわかり、大変嬉しく思いました。

施術後に「来年もよろしくお願い します」というお言葉を頂けると施 術者の励みになりますね!

また来年も施術ボランティアとして大会に参加できたらと考えております。卒業生の方々の参加もお待ち

しています。ご協力よろしくお願い 致します。 (教員 田中智子)



学校前がスタート・ゴール地点

お茶の水女子大学 第62回徽音祭(学園祭)

11月12日、13日お茶の水女子大学の徽音祭にてボランティア指圧を行いました。実行委員の学生さん曰く「友達から"今年も指圧のイベントあるの?"とメールが届くほど、人気企画なんですよ」。

指圧会場は準備前から、今か今か と順番を待つお客様の長蛇の列。

1日目は245名、2日目は354名の 方に指圧を受けていただきました。 1年生の私は、授業以外の場で指 圧をするのが初めてで、どんな方々 がいらっしゃるのか?リラックスし ていただけるのだろうか?と不安の 連続でした。2日間で15名ほど指圧 させていただきましたが、まだまだ 修練が足らないのか、途中で自分の 指が悲鳴をあげてしまいました。休 憩している間も、基本指圧をやるだ けで精一杯の1年生とは違い、疲れ を見せず、受ける方の立場に立って 丁寧に指圧を続けている先輩方の姿 を見て「もっともっと修練を重ね先 輩方のように指圧が出来るようにな りたい」と強く思いました。

来年はもっと修練を積んでボラン ティア指圧に参加したいと思います。 (1D 松室 康子)



600名近くが指圧を体験、大盛況にて終了

老人ホームで阿波踊り 指圧連

2011年10月30日、指圧連の メンバー12名で板橋区の介護 付老人ホームで公演を行いました。

事前に告知をしていたため、皆さんから大いに期待された公演となり、 当日は、総勢50名の方々にお集まりいただきました。

始まる前はシーンとしていた会場 も踊り子が姿を現し、大太鼓、締め 太鼓、鉦、三味線の音が聞こえてく ると大盛り上がり。手拍子や声をか けて応援してくださる方や、声にせ ずとも一生懸命見入ってくださる 方、普段は物静かな方からも声がか かったり…。

あっという間に全員阿波踊りモード。引き続きの阿波踊り教室になる と、踊り子と一緒に楽しんでくれま



~秋だけど…祭り気分 阿波踊り~

1-

この施設で仕事をするスタッフの一人としても、日常とは違った皆さんの姿や笑顔を見て、言葉では言い表せない感激を得ることができました。そして、私達が元気を与えるはずが、逆にたくさんのパワーをいただいていたように思います。

公演後も出勤するたびに、「楽し かったわー」「今度はいつやるの?」 「もっと見たい」という声をいただき、公演をやれてよかったという嬉しさでいっぱいになっています。

次回は12月に同じ施設での公演が決まっています。そして今まで公演をさせていただいた施設を含め、いろんな場面でこのような機会が増えていけばいいなと思っています。

やっとさー やっとやっと…♪

(1D 松室 康子)

🏃 12時間リレーマラソン

私達は「文の京12時間リレーマラソン」に参加しました。

10月15日の夕方から16日の翌朝までの12時間で、1チーム10名のメンバーが1周1.2kmのコースを何周走れるか競い合います。私達3年生は先



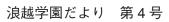
チーム「日本指圧専門学校走る会」

生方と共にチームを作り、エースである 生徒会長の大久保氏を軸とした順番を組 み立てました。

初参加で要領も解らず、終盤には雨が降り出すという悪条件の中で行われ、体力のある人が皆を引っ張ってくれたことで、一人の怪我人も出すことなく、参加100チーム中18位という満足のいく成績を残すことができました。

教員と学生の壁を越え、一本の襷を繋 ぎあった経験は、みんなの連帯と信頼の 尊さを学ばせてくれました。

応援に駆けつけて下さった、先生、学生、トレーナー部、関係者にお礼申しあげます。 (28 鳰 瑞輝)



発行日:2011年 12月 14日 発行人:理事長 浪越和民

発 行:学校法人浪越学園 日本指圧専門学校

〒112-0002 東京都文京区小石川2丁目15番6号

TEL.03-3813-7354 / FAX.03-3816-3551

http://www.shiatsu.ac.jp/編集·制作:国際医学出版株式会社

